

男性の働き方暮らし方改革 男性育休義務化の必要性 フランス、スウェーデンの 男性育休の本質とは？

— 白河桃子 —

相模女子大、昭和女子大客員教授
少子化ジャーナリスト
働き方改革実現会議有識者議員

父親の家庭参画のために必要なのは・・・

働き方改革で家庭に時間を返す
働き方改革



社会の意識を転換するための
メッセージ制の強い施策＝父親育休義務化？
暮らし方改革

[全社施策] 企業が行う残業対策の実態と効果

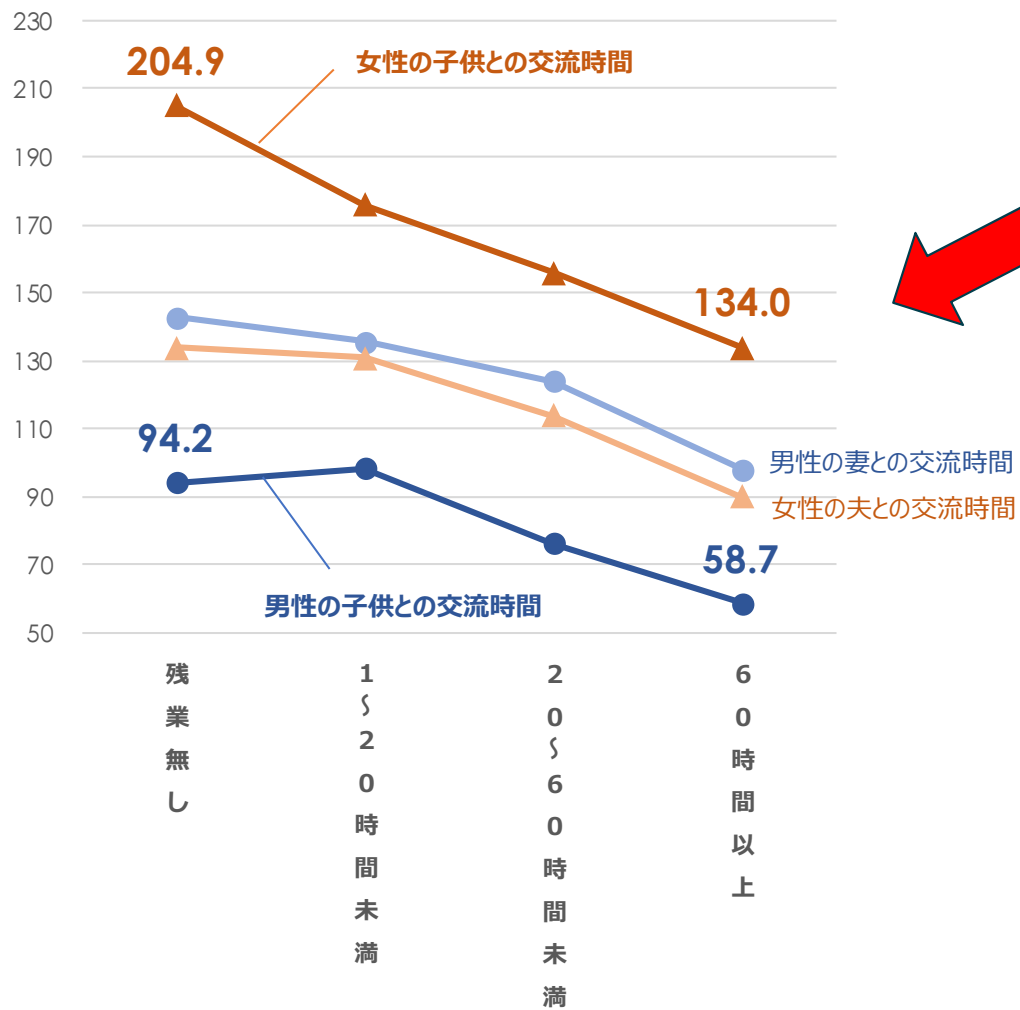
[全社施策編]



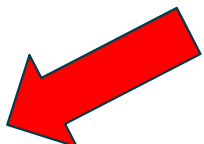
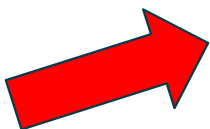
【引用時の表記】「パーソル総合研究所・中原淳 長時間労働に関する実態調査」

家族との交流と残業時間

【男女別】 家族との1日の交流時間 (分) と残業時間



残業なしの男性より
60時間残業する
女性の方が子供との
交流時間は長い



【引用時の表記】「パーソル総合研究所・中原淳 長時間労働に関する実態調査」

仕事の時間が短くなると・・・男性はテレビを見る時間が増える

男女の時間の使い方比較

		仕事	生活時間増減 (分)				
			睡眠	家事・育児	新聞など テレビ・ くつろぎ	休養・ 趣味・ 娯楽	(分)
男性	週の就業時間が 「30～34時間」層と 「49時間以上」層の 比較	-257	+65	-2	+101	+66	+21
女性			-164	+31	+70	+14	+11

男性「30～34時間層」 n=164 男性「49時間以上層」 n=4613
女性「30～34時間層」 n=821 女性「49時間以上層」 n=580

平成28年社会生活基本調査よりパーソル総合研究所者作成
注：・「暇になった分をどこに回すか」を一人について直接変化を見たものではなく、
「既婚子ありの男女について、一時点での労働時間の多い／少ない」で仮想的に比較してみたものです。
・夫婦のペアデータではないため、ある一組の夫婦について聴取したものではありません。
・生データそのものの質については、弊社は直接担保しておりません。
(オリジナル調査ではないため)

家庭に起きている「パパはゾンビ」問題 長時間労働でパートナーシップが阻害される

「パパは死んだものと思っている」

ワーキングマザーの集まりでの衝撃発言！

この意味は・・・

「パパがいると思うと、子育てを一緒にやってくれると期待してしまう。
いっそいないものと思わないと自分が辛くて仕方がない」

主婦家庭でも

「もう一人子どもがほしいと思うために何が必要か」アンケートで
お金の話の中で、唯一ベスト10入りしていた
「夫が早く家に帰ってくること」

フランスの父親休暇14日間(EUでは10日) 「男の産休」で意識的に男性を父親にする

「フランスはどう少子化を克服したか」
高崎順子

2002年から施行
2007年には父親の7割が取得

3日間出産有休+11日間「子どもの受け入れと父親休暇」
(雇用主負担) (国の負担)

父親になるための短期集中合宿的な意味合い
「赤ちゃんと知り合う時間」

「濃密な二週間は夫婦の転換期」

入院中の助産師指導も父親のスケジュールにあわせて
自宅に帰ったときに夫婦で子育てできる体制に

フランスの政策転換の背景は現状認識

「フランスはどう少子化を克服したか」
高崎順子氏インタビューより

93年に1・66ショック
女性が子どもを産まない理由を現状把握
両立が厳しくなると、**子ども<仕事**

90年代から政策転換「男女が平等に、仕事、家庭、両方の責任を果たせる」

社会と男性への信用をとりもどす
「母親にとって子育てはたいへんなこと」と認め、徹底的に親をサポートすることに…

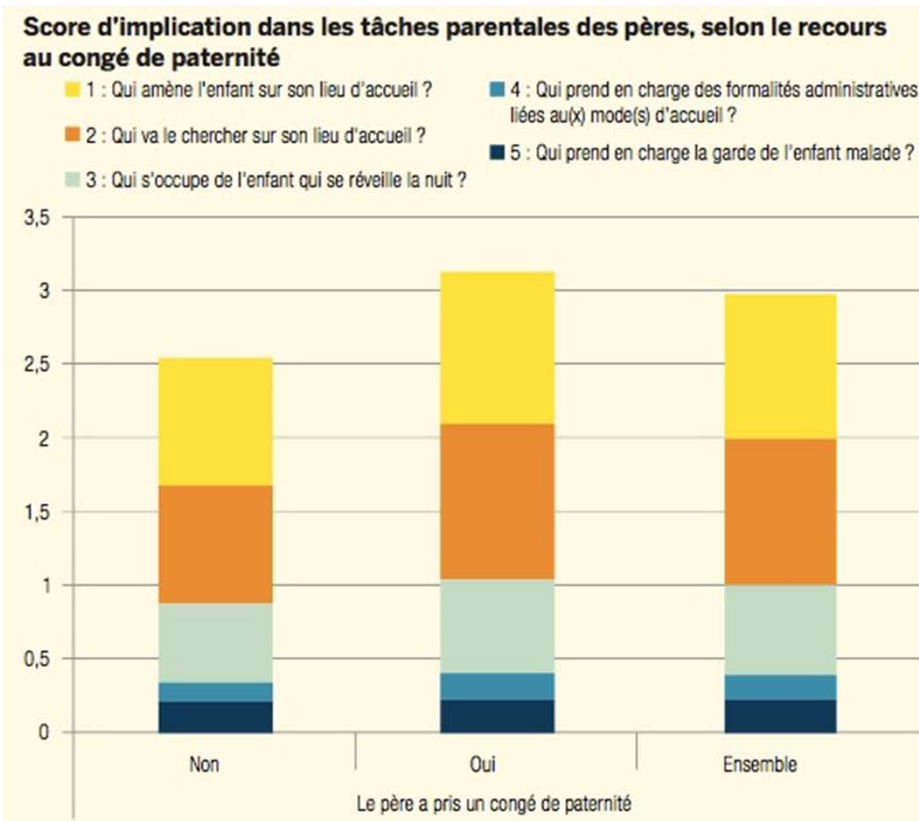
「母親をサポートするのは父親」
しかし育休制度は普及しない…それなら違う手段で…

「父親休暇」というメッセージは、強制的に「2週間は家庭に帰れ」
政府のメッセージ制の強い政策

政策は政府のメッセージである

フランスの政策評価のポイント

- 子の誕生直後の父親休暇は父子の長期的良好な関係の形成を決定づけるものであり、その効果は思春期まで影響する。フランスにおいては、父親休暇は家庭内での長期的な家事育児分担にもポジティブな影響を与えているとのデータが出ている(出典:国立人口学研究所INEDの2018年度報告、英語版あり <https://www.ined.fr/fr/publications/editions/document-travail/can-daddies-learn-how-to-change-nappies/>)。



表：父親休暇取得の有無に対する、父親の育児タスク参加スコア

- 1：子を保育所に送りに行く（黄）
- 2：子を保育所に迎えに行く（橙）
- 3：夜中に起きた子の世話をする（薄青）
- 4：保育手段に関する手続きを行う（青）
- 5：病児看護をする（紺）
- Non 父親休暇を取らなかった父親
- Oui 父親休暇を取った父親
- Ensemble 上記2種の平均
- * 保育園もしくは母親アシスタントに保育されている5ヶ月～35ヶ月の子供が一人以上いる父親が対象。これは「3歳未満の子がいるカップルの父親」の約半数以上。

フランスの政策評価のポイント

- 出産直後の心身脆弱な状態におかれた母親たちにとって、父親の存在は「脆弱な状態で孤立しないこと」を意味し、母子の保健環境の改善に繋がる。早産の場合、この効能はより強調される。
- 現在フランスでは、父親休暇制度のさらなる改善を求める声が、男女平等促進団体などから強く上がっている。その主な理由は「育児における父親の役割を正當に認めるため」と「家族の保護のため」の2点である。
- また世論調査では、仕事と家庭の両立のため、父親休暇の期間延長や義務化を希望する声が高い。
- 一方雇用主側(企業、行政)の側からは、現行制度の改善を望む声はほとんど出ていない。現行の父親休暇制度及び運営に関して、雇用主側に大きな不具合がないことの表れと言える。

スウェーデン初の
イクメンキャンペーン
は40年前！



モデルは重量挙げの有名選手
メッセージは「育児をすることは男らしい」

現在は・・・4ヶ月以上育休を取ったパパたちの写真展



スウェーデンの男性育休

スウェーデンの数字に見る
子育てのヒント

約90%

男性の育児休暇取得率は90%近くに上る(※1)。

※1「The Economist」より ※2「2014年度雇用均等基本調査」より

480日

父親・母親が合わせて取得できる育児休暇日数。うち90日が父親に確保され、平均すると25%にあたる120日を父親が取得している。日本でも2~3ヶ月取得する父親は少なくないが、その全員がWLBを実現できているわけではない。積極的に育休取得に努めよう。

80%

育児休暇480日のうち390日は、休暇前の給与の8割が政府により保障される。実は日本でも、休暇前の給与の8割程度の収入が手取り換算で得られる(ただし、最初の半年間)。経済的な心配は無用なのだ。

ESG投資、SDGs(ゴール5はジェンダー平等)ジェンダー平等は企業価値に関わる



ジェンダー平等の 投資家向け非財務情報をランキング

ハラスメントについての項目
ハラスメント指針を公開しているか

**男女平等に育休などが取れる
か？**

賃金が男女平等か？
同じ仕事の男女間の賃金格差の開
示があるか？

企業価値をどのように開示すべきか？

金融庁や経済産業省も「男性育休」について積極的に企業に取得を促すべきではないか？

経産省：なでしこ銘柄やダイバーシティ企業100選などの事業で積極的に評価指標にしたはどうか？

なでしこ銘柄

H29年度の48社は「平成29年度の「男性育児休業取得率」は、全回答企業が13.9%、選定企業が36.0%という結果で高い水準」

金融庁：有価証券報告書、コーポレートガバナンスコードなど有価証券報告書に男性育休の取得人数、%、日数などを開示したらどうか？

政策としての 男性育休義務化の意義

- ・あえて強く打ち出すことはメッセージとなる
- ・カップルで今後の長い子育てという事業をチームでやっていく
スタートアップ休暇という位置付け
- ・2週間以上の取得を企業に義務化
(母親が産後うつを発症するピークをカバー)
- ・育児休業の法改正
1ヶ月前までの申請という硬直性や書類手続きなどを「徹底的に使いやすく」
最初のひと月は、給付金を90%にしてお金の不安をなくす
届出の不便さというハードルを下げる